

令和5年度 東峰村

# ことしの予算

令和5年度の主な予算を紹介します。補助金に関しては先日配布した「東峰村の補助金一覧」をご覧ください。



村民の皆様には、日頃より村づくりにご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨年度に引き続き、本年も災害復旧・復興を村政の最優先として取り組んでおります。平成29年発生分の工事につきましては、県工事に伴う農災復旧工事以外はすべて発注がございましたが、平成30年以降も毎年のように災害が発生しております。皆様には、ご不便等をおかけいたしますが、引き続きご理解をお願い申し上げます。今後も国・県など関係機関との連携を図ってまいります。

令和3年度に約4億円をいただいたふるさと納税は皆様のおかげにより、令和4年度も約3億円の納税をいただきました。そうした財源も考慮しながら今年度の予算編成を行いました。

今年度の予算は、これまで村が策定した計画に基づき、財政状況を鑑みながら、産業の振興・福祉・教育はもちろんのこと、本年8月には待望のJR日田彦山線のBRTでの再開が予定されており、村でもAIオンデマンド交通を活用した新たな地域交通網の整備を予定しているところです。そのほかDX推進のためのプレミアム商品券デジタル化推進事業、地域協働を推進するためのコミュニティ協議会の発足などにも重点を置いた内容となっております。また、災害に強い村づくりを実現するため、防災無線機能強化事業にも取り組んでまいります。

本年度も引き続き、村民の皆様が安心して生活ができる元気で活力ある村づくりに取り組み、職員一同、村民の皆様と一体となって事業遂行してまいります。ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東峰村長 真田 秀樹



テレワークテラス宝珠 開所式

# 自然・伝統・文化を活かした魅力あるものづくり

## 畦畔保護工事

(農林建設課)

福岡県農村整備総合事業補助金を活用し、石積畦畔コンクリート保護工事800mを実施予定です。

◆主な経費	
工事請負費	1,400万円
◆財源	
国県補助金	700万円
受益者分担金	280万円
一般財源	420万円

【 着工前 (大字宝珠山) 】



【 着工後 (大字宝珠山) 】



## 日田彦山線沿線景観整備事業

(ふるさと推進課)

日田彦山線沿線における沿線周辺の景観等について整備・検討していきます。

◆主な経費	
委託料	2,911万円
土地購入費	423万円
その他	75万円
◆財源	
国県補助金	1,300万円
日田彦基金	867万円
一般財源	1,242万円

## 有害鳥獣防護柵設置工事 (農林建設課)

福岡県鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、鳥獣侵入防止柵設置工事2,500mを実施予定です。

◆主な経費	
工事請負費	2,125万円
◆財源	
国県補助金	1,031万円
受益者分担金	213万円
一般財源	881万円

## 荒廃森林整備事業 (農林建設課)

森林の荒廃防止と荒廃した森林の再生を図るため、森林整備並びに間伐等を行い、村の自然を守ります。

◆主な経費	
工事請負費	1,300万円
その他	185万円
◆財源	
国県補助金	1,456万円
一般財源	29万円

## 竹棚田駐車場整備事業

(ふるさと推進課)

大字宝珠山竹地区にある里山カフェ「棚田屋」の駐車場を整備し、観光客等の利便性を改善します。

◆主な経費	
委託費	550万円
工事請負費	1,936万円
◆財源	
施設改修基金	2,486万円

# 美しく、安全で暮らしやすい村づくり

## 村道橋梁点検・補修改修工事 (農林建設課)

村道橋梁の点検と経年劣化等により補修が必要となった箇所は塔の元橋・中尾床板橋・釜床橋を予定しています。

◆主な経費	
委託料	300万円
工事請負費	3,500万円
◆財源	
国庫支出金	2,528万円
起債(合併特例債)	1,270万円
一般財源	2万円

### 【村道延田・紙屋線(大字福井)】



### 【塔の元橋(大字福井)】



## 村道延田・紙屋線改良工事 (農林建設課)

村道延田・紙屋線の幅員拡張工事を行います。

◆主な経費	
委託料	1,000万円
工事請負費	5,000万円
◆財源	
起債(過疎対策債)	6,000万円

## 緊急自然災害防止対策事業 (R4繰越を含む) (農林建設課)

東峰村が管理する河川の防災工事を行います。(山の神川、下合川、寺村川、原川)

◆主な経費	
委託料	500万円
工事請負費	1億2,000万円
◆財源	
起債(緊急自然災害防止対策事業債)	1億2,500万円

### 【緊急自然災害防止対策事業 河川防災工事の一例】



原川(大字福井) 工事予定箇所

# 美しく、安全で暮らしやすい村づくり 《 災害復旧関連 》

## 公共土木災害復旧工事 (R4線越) (農林建設課 災害対策室)

公共土木施設 (R4線越) の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
工事請負費	2, 217万円
◆財源	
国県補助金	145万円
起債 (災害復旧事業債)	2, 000万円
一般財源	72万円

## 公共土木災害復旧工事 (農林建設課 災害対策室)

公共土木施設の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
委託料	200万円
工事請負費	2, 800万円
◆財源	
起債 (災害復旧事業債)	3, 000万円

## 農地・農業用施設災害復旧工事 (R4線越) (農林建設課 災害対策室)

農地・農業用施設 (R4線越) の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
工事請負費	7, 700万円
事業費補助金	40万円
◆財源	
県支出金	1, 921万円
起債 (災害復旧事業債)	1, 000万円
受益者分担金	45万円
一般財源	4, 774万円

## 農地・農業用施設災害復旧工事 (農林建設課 災害対策室)

農地・農業用施設の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
工事請負費	9, 720万円
事業費補助金	940万円
◆財源	
県支出金	2, 808万円
起債 (災害復旧事業債)	2, 710万円
受益者分担金	66万円
一般財源	5, 076万円

(県支出金の割合が変更になる可能性があります)

### 農地・農業用施設災害復旧工事(宝珠山 金剛野)



# 住民主役・行政と協働の持続可能な村づくり

## 地域おこし協力隊

(ふるさと推進課・農林建設課)

地域おこし協力隊制度を活用して、都市部の人材を東峰村に招聘し、村の活性化を図り、隊員の定住・定着につなげます。

- ◆主な経費（11名分）
  - 報酬・活動費等 5, 544万円
- ◆財源
  - 一般財源（特別交付税措置） 5, 544万円



## 防災無線機能強化事業

(総務企画課)

住民への防災情報の確実な伝達のため、新たな防災無線システムを導入し、機能強化を行います。

災害発生時に安定的な伝達機能を有し、安全でかつ安心して生活できる村づくりの推進に寄与します。

- ◆主な経費
  - 工事請負費 3億円
- ◆財源
  - 起債（緊急防災・減災事業債） 3億円

## プレミアム商品券デジタル発行事業

(ふるさと推進課)

プレミアム付き商品券のデジタル化をはじめとして、地域経済の活性化を目的としてデジタル地域通貨の基盤を整備します。

- ◆主な経費
  - 委託料他 5, 480万円
  - 補助金（追加分） 900万円
- ◆財源
  - 国県補助金 2, 740万円
  - 起債（過疎対策債） 400万円
  - 一般財源 4, 500万円

## AIデマンド交通（オンデマンドバス）

(ふるさと推進課)

ドアツードア方式で村内全域をカバーするAIを活用したオンデマンドバスを導入します。

- ◆主な経費
  - 需用費 50万円
  - 通信費 18万円
  - 委託料 3, 376万円
  - その他 1, 020万円
- ◆財源
  - 国県補助金 2, 180万円
  - 日田彦山線沿線振興基金 2, 020万円
  - 一般財源 264万円

【 オンデマンドバス完成予定図 】



# 高齢者等にやさしく、子育てしやすい村づくり

## 避難行動要支援者システム構築事業 (住民福祉課)

災害等の避難の際に近所等の手助けが必要な要支援者を一元管理するシステムを導入し、災害時に要支援者の情報を関係機関及び支援者で共有することでスムーズな避難誘導を促すものです。

◆主な経費	
通信費	10万円
委託料	498万円
◆財源	
起債（緊急防災・減災事業債）	490万円
一般財源	18万円

## 集落支援事業 (住民福祉課)

人口減少や高齢化が進む地域の点検活動等を通じて、地域の実情や課題を把握し、高齢者の支援や地域の活性化を図るため、集落支援員を5人配置します。

◆主な経費	
報酬等	1,137万円
車両リース料	142万円
その他	113万円
◆財源	
一般財源（特別交付税措置）	1,392万円

# 愛する心を育む人づくり



【国天然記念物指定記念一般公開の様子】

## 天然記念物整備基本計画策定事業 (教育課)

九州北部豪雨の際、災害箇所から偶然発見され、天然記念物の指定を受けた約9万年前の火砕流堆積物及び埋没樹木の整備基本計画を策定します。

◆主な経費	
需用費	100万円
委託料	211万円
その他	88万円
◆財源	
国県補助金	112万円
一般財源	287万円

※1 この「ことしの予算」には別途配布した「東峰村の補助金一覧」で紹介した事業は掲載していません。

### ◆特別会計の予算の内容◆

#### ★簡易水道事業特別会計

歳入歳出総額 7,096万円（昨年度比243万円増）

主な増額理由は、会計法適用のための費用の増

#### ★国民健康保険事業特別会計

歳入歳出総額 3億1,895万円（昨年度比1,914万円減）

主な減額理由は、保険給付費（一般被保険者）の減

#### ★後期高齢者医療特別会計

歳入歳出総額 4,154万円（昨年度比173万円増）

主な増額理由は、広域連合納付金（保険料等負担金）の増

# 40億6,875万円

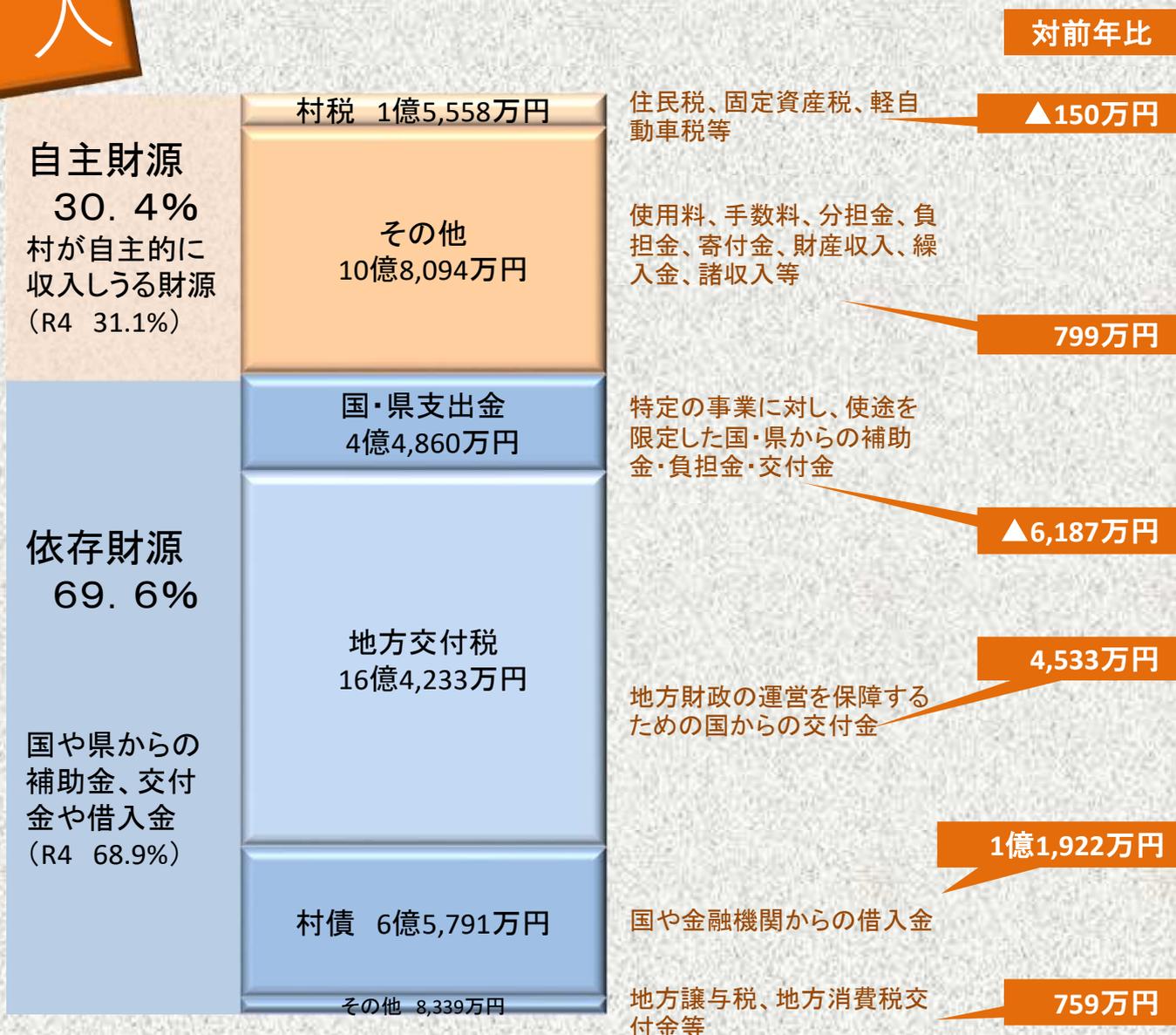
令和4年度 39億5,199万円

令和5年度当初予算は、前年度比1億1,676万円増の予算となっています。

増額の要因としては、村道延田・紙屋線改良工事（6,000万円増）、プレミアム商品券デジタル発行事業（6,380万円増）、AIデマンド交通事業（4,464万円増）、防災無線機能強化事業（3億円増）、消防団車両購入事業（2,900万円増）が主なものです。

減額の要因としては、村道杷木・宝珠山線改良改良工事（3,650万円減）、ほうしゅ楽舎再建築工事（3億4,900万円減）、村民センター改修工事（2,600万円減）が主なものです。

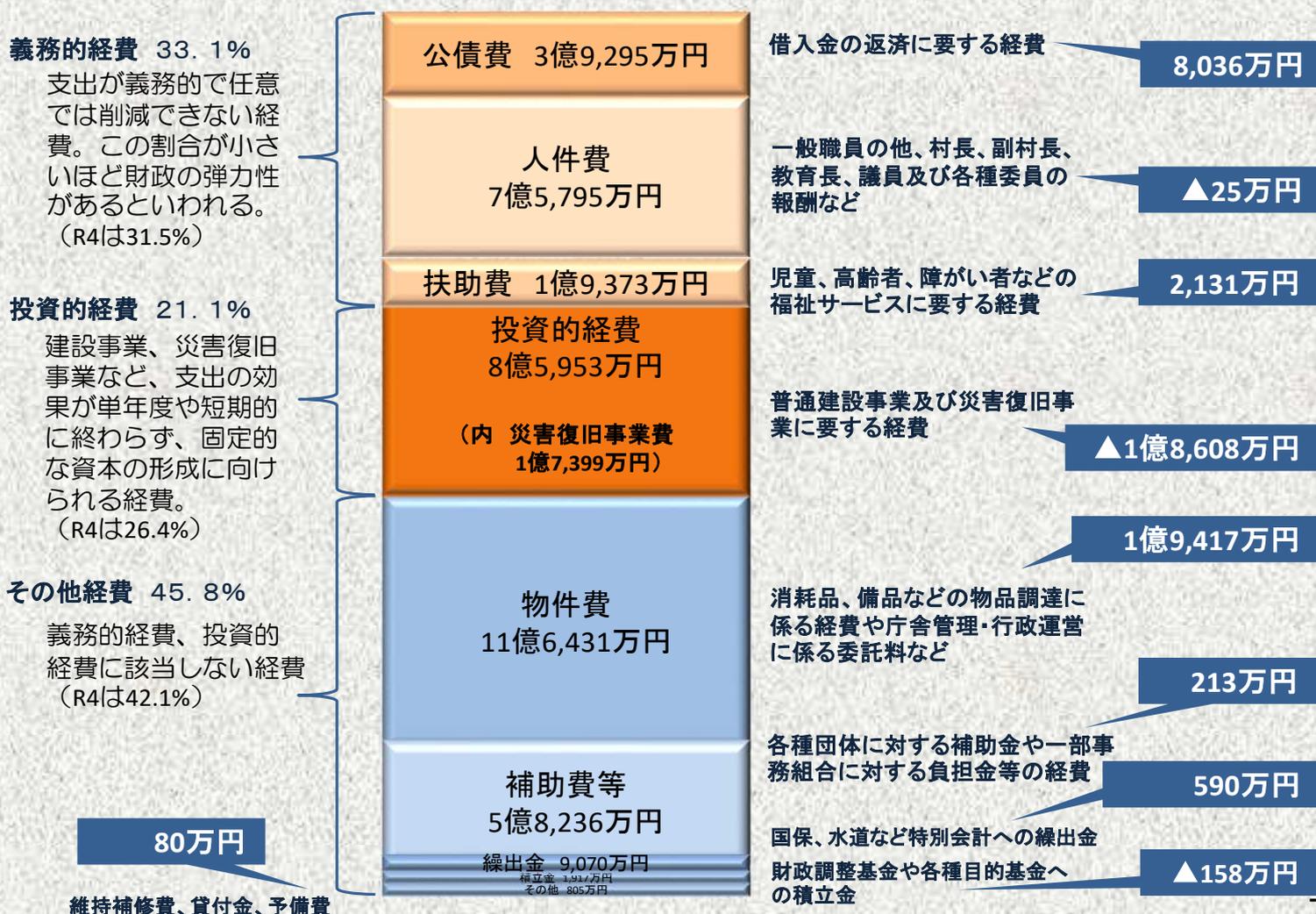
## 歳入



## 目的別経費

	5億円	10億円
村全体の管理事務など(予備費含む)	総務費 13億2,782万円 R4 (16億1,108万円)	
高齢者・児童・障がい者福祉など	民生費 5億7,058万円 R4 (5億4,596万円)	
農林水産、商工業、観光など	農林水産商工費 4億8,684万円 R4 (3億9,618万円)	
消防、防災など	消防費 4億4,917万円 R4 (1億918万円)	
借入金の返済	公債費 3億9,295万円 R4 (3億1,258万円)	
道路、河川、ダム関連、住宅など	土木費 2億5,917万円 R4 (2億4,561万円)	
保健衛生、ゴミ、し尿処理など	保健衛生費 2億472万円 R4 (1億9,362万円)	
小・中学校、社会教育など	教育費 1億3,769万円 R4 (1億4,658万円)	
議会の運営	議会費 4,688万円 R4 (4,605万円)	
簡易水道事業特別会計への繰出し金	諸支出金 1,850万円 R4 (1,737万円)	
災害復旧費	災害復旧費 1億7,442万円 R4 (3億2,776万円)	

## 性質別経費



# 村債(借金)と基金(貯金)の状況について

村債(村の借金)は、令和4年度末(見込)で45億8,530万円(一般会計)、前年度比で2億6,536万円の増となっています。増額の主な要因は平成29年九州北部豪雨、令和元年秋雨前線豪雨、令和2年梅雨前線豪雨、令和3年8月豪雨、令和4年9月豪雨による災害復旧事業等に伴う借入れ、緊急自然災害防止対策事業(河川・林道防災)、村道杷木宝珠山線改良事業に伴う借入れを行ったためです。

ただし、村の借金には、返済金の一部が国からの地方交付税で返ってくるものが大半を占めているため、実質的にはその3割程度となります。

令和4年度末(見込)の基金(村の貯金)残高は、36億167万円で、前年度比8,433万円増加しました。増加の主な要因として、ふるさと納税事業による基金の積立が最も大きいものとなっています。

なお、村の財源補てんのために必要な時に使える「財政調整基金」の残高は、昨年より4,814万円減の9億9,717万円です。財政調整基金が減少すると、村の弾力的な予算編成、執行ができなくなりますが、現状では概ね良好な財政運営になっています。

村では、こうした借金と貯金とのバランスや経済の動向を考え、将来にわたっての様々な財政分析をしながら効率的な財政運営に努めています。



村債(借金)の推移



基金(貯金)の推移